

2022 年度松山大学人文学部英語英米文学科 入学試験【指定校推薦型選抜】(60 分)

以下は 2010 年に出版された江口裕之・長野真一著『トラッドジャパンのころ——英語と日本語の世界を旅する』に収録された『お帰りなさい』の温かさ——Heartwarming Japanese honorifics』である。この文章を読んで続く各問いに答えよ。回答は全て解答用紙に記入せよ。

何気ない挨拶^{あいさつ}の言葉がなぜか温かく感じる。
そんな日本語の不思議の秘密は
どこにあるのでしょうか。

ちょっと、前になりますが、三谷幸喜脚本・監督の『THE 有頂天ホテル』という映画がありました。

カウントダウンパーティーを間近に控えた大晦日^{おおみそか}のホテルを舞台に、ホテルマンや訳ありの宿泊客たちが繰り広げる悲喜こもごものドラマです。

役所広司、松たか子、戸田恵子など、おなじみの三谷ファミリーの面々に、西田敏行、津川雅彦らが加わった豪華なキャスト。緻密^{ちみつ}に計算されたストーリー構成で、楽しめました。

この映画の中で、役所広司が演じるホテルの副支配人が、
「我々はいつもお客様に向かって『お帰りなさい』という気持ちで接している」
という場面があります。この「お帰りなさい」の言葉が、ラストシーンのキーワードにもなってきます。

「お帰りなさい」

良い響きです。

考えてみると、この言葉は命令形なんですね。

「帰って来い！」

をちょっと丁寧に言うてみただけなんです。

この尊大な言葉が、いつしか返ってきた人を温かく迎える挨拶の表現になったわけです。

日本語には、日常生活に使う独特の挨拶の表現がたくさんあります。

「ただいま」

「お帰りなさい」

「行ってきます」

「行ってらっしゃい」

「いただきます」

「ごちそうさまでした」

これらは、英語では訳しにくい表現です。

家に帰った子どもとそれを迎えるお母さんの会話と言えば、

Hello, I'm home!

Oh, hello Jim.

といったところでしょう。

ここで使う hello は、「ただいま」「お帰り」の意味以外でも、人と人が出会う時に広く使われる言葉です。つまり「ただいま」「お帰り」の場面だけに使われる言葉はないのです。

同じように、「いただきます」「ごちそうさま」などにあたる言葉ありません。日本語は、こうした場面ごとに定型化した挨拶の表現が高度に発達した言語と言えるでしょう。

よく見ると、日本語のこうした挨拶の多くは、敬語が使われています。

日本語の敬語の種類の高さは、日本語を学ぶ外国人を辟易^{へきえき}させるほどで、年長者を敬う儒教的精神と長く続いた階級社会が生み出した表現です。今日でも日本社会では、ぎすぎすしがちな人間関係を円滑に進めていく上で、敬語が大きな作用を及ぼしているのは言うまでもありません。

「お帰りなさい」と言う時、私たちは特にそれが敬語だと意識していません。

しかし、帰ってきたのが子供であっても「お帰りなさい」と敬語で迎える。そうした挨拶文化が日本の社会で優しい人間関係を築く大きな力になっているでしょう。

もしこの決まりの挨拶が「帰りなさい」だったとしたら、ずいぶん違った気分になるでしょう。たった一音「お」を加えただけで、日常生活がずいぶん温かいものになっている。

日本語の敬語は偉大です。

問1 「我々はいつもお客様に向かって『お帰りなさい』という気持ちで接している」と言うとき、ホテルの従業員は、自分たちと「お客様」のコミュニケーションをどのように捉えていると考えられるか。100～200字で述べよ。

問2 「食事をいただいた後、どうして日本人は『ありがとうございます』よりも、『ごちそうさまでした』と言う場合が多いのですか」と、日本語をほぼ理解できるけれども、そのような使い分けについてまだ慣れていない、英語を母国語とする友人に尋ねられたら、あなたは何と答えるか。250～350字で述べよ。

問3 筆者が「日本語の敬語は偉大です」と気付いたのは、英語を学ぶことを通して、日本語を見直したからである。同様に、英語を学んでいるからこそ気づくことができる日本語のその他の側面として、どのようなものがあるだろうか。具体例を挙げながら、100～200字で述べよ。英語を使用する場合は、1マスに2文字入れること。また、日本語の敬語以外について述べること。